

# 2016年3月期 決算説明会

2016年5月16日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

# 当期決算の概要（連結）



# 1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 2015/3	当期 2016/3			対前期増減率 (%)
		期初予想	前回予想※	実績	
売上高	160,803	172,000	167,000	165,522	2.9
国内売上高	122,490	126,000	121,000	121,989	△ 0.4
海外売上高	38,313	46,000	46,000	43,533	13.6
営業利益	15,921	18,000	16,500	16,438	3.3
経常利益	17,234	18,000	16,800	16,116	△ 6.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,142	12,100	10,700	10,516	△ 5.6

← ● 為替影響除く: +7%

2015/3 2016/3  
粗利率: 48.4% → 48.8%  
販管費率: 38.5% → 38.9%

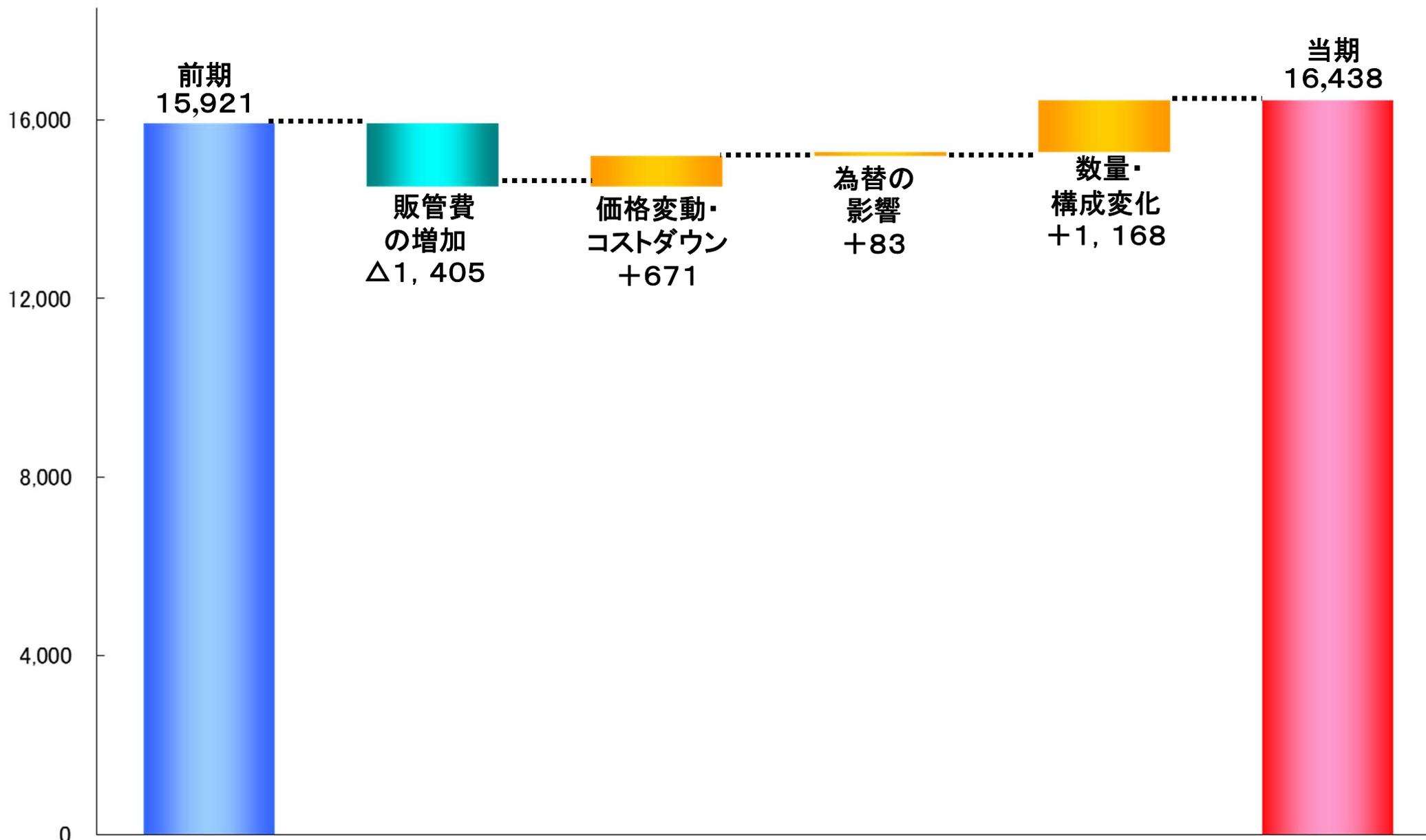
2015/3 2016/3  
為替差益 為替差損  
818百万円 → 911百万円

平均レート	(2015/3)	(2016/3)
1ドル	109.6円	120.1円
1ユーロ	139.4円	132.4円

※2015/11/4 第2四半期決算発表時の予想数値

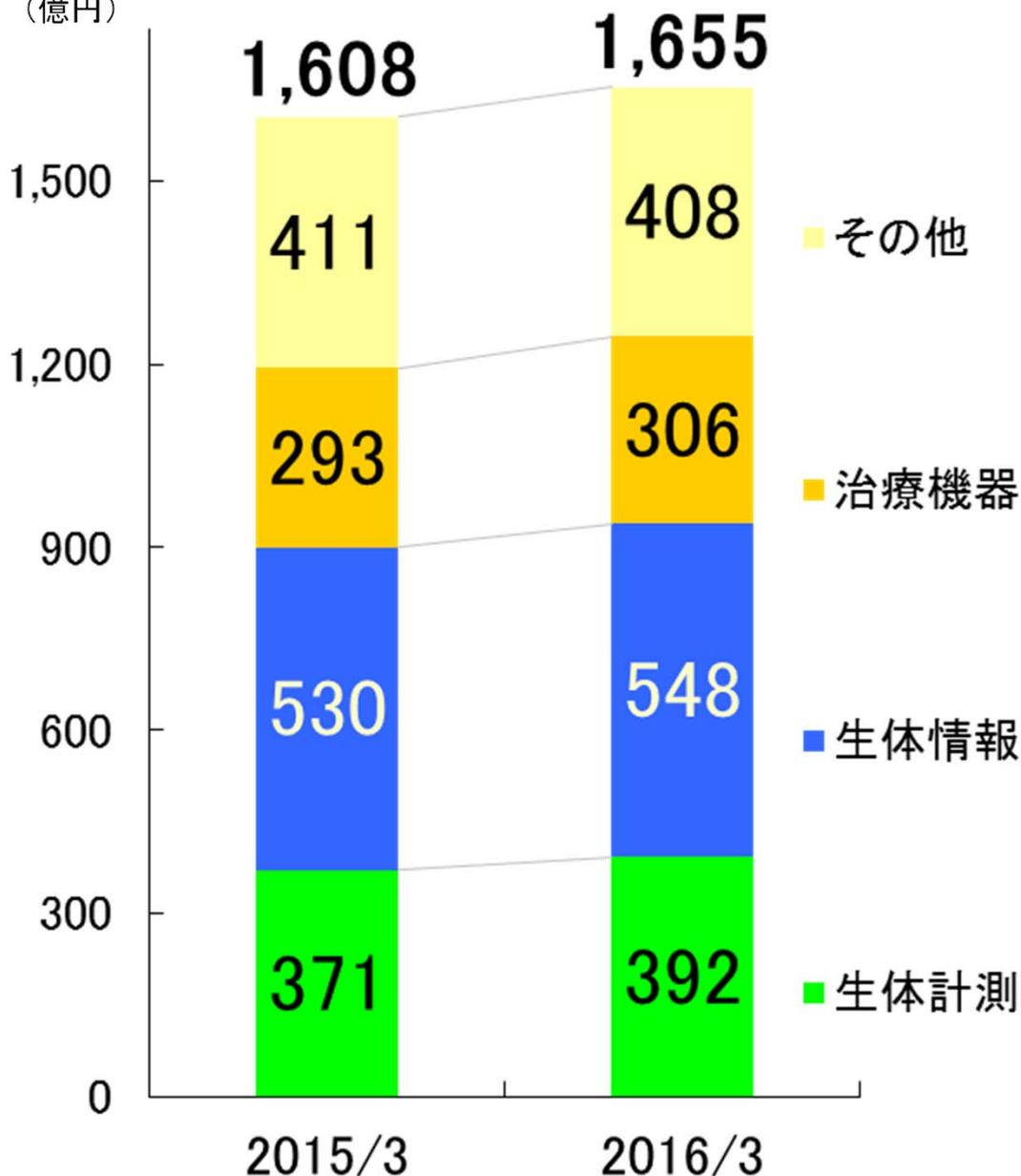
## 2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)

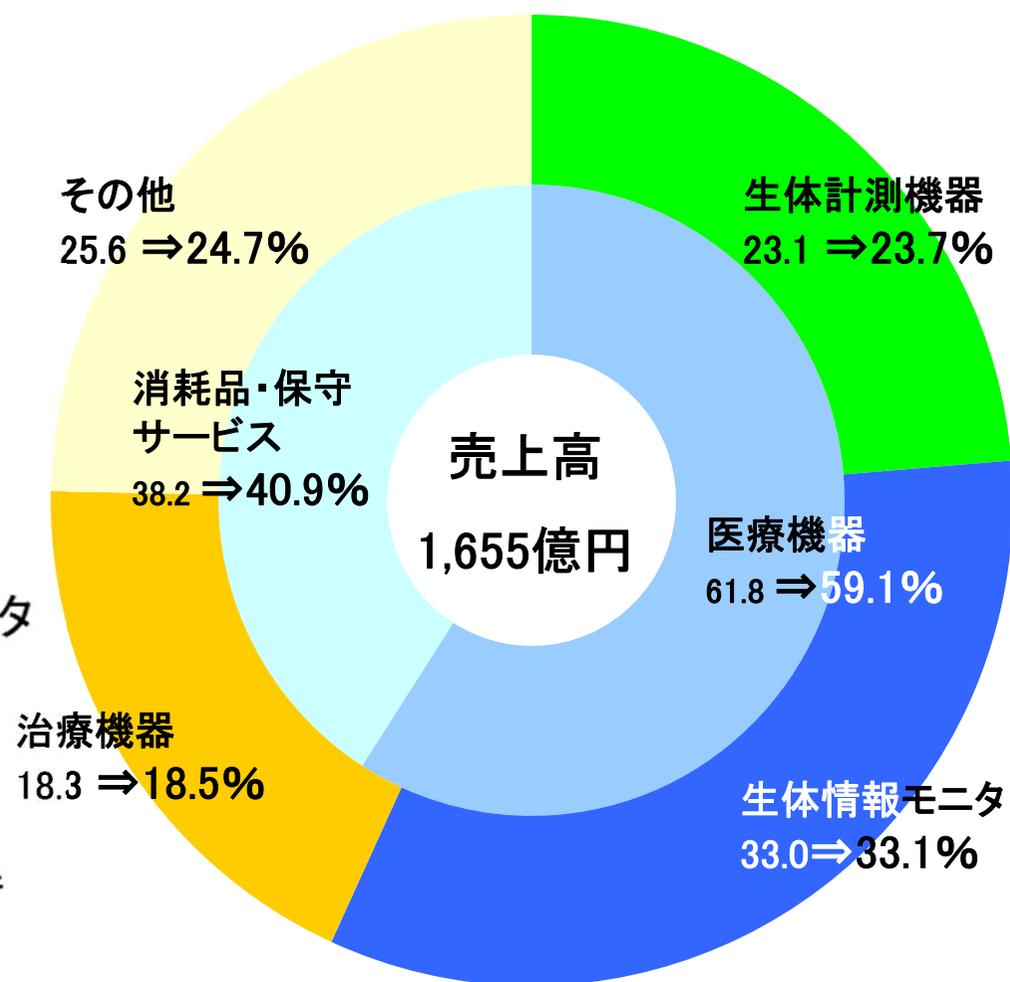


# 3) 商品群別売上高

(億円)



商品群別売上構成比  
(2015/3⇒2016/3)



# 3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3	増減率(%)	(参考) 比較可能 ベース
脳神経系群	9,913	8,200	△ 17.3	△ 0.5
心電計群	7,376	7,163	△ 2.9	
心臓カテーテル検査装置群	9,561	11,254	17.7	
その他(診断情報システム等)	10,329	12,599	22.0	5.0
<b>生体計測機器合計</b>	<b>37,180</b>	<b>39,218</b>	<b>5.5</b>	
うち国内売上高	28,452	29,944	5.2	
うち海外売上高	8,728	9,274	6.3	

【国内】前期を下回る  
【海外】区分変更の影響を除くと堅調

【国内】前期を下回る  
【海外】欧州、アジア州で堅調

【国内】電極カテーテルの売上が伸長。  
新商品も寄与

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。米国販売子会社ERP導入に伴い、2016/3期から、従来「脳神経系群」に区分していた現地インストール品を「その他(診断情報システム等)」に区分しています。



脳波計 EEG-1250



心電計 ECG-2300

**New!**



臨床用ポリグラフ RMC-5000

# 3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	53,068	54,823	3.3
うち国内売上高	35,334	34,616	△ 2.0
うち海外売上高	17,734	20,207	13.9

← 前期の私立病院市場における需要の反動もあり、減収

← ・米州、アジア州で好調  
・新商品も寄与



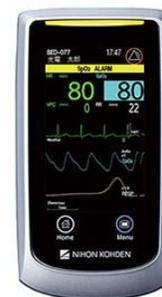
ベッドサイドモニタ  
CSM-1901

**New!**



新興国向け  
ベッドサイドモニタ  
SVM-7500シリーズ

**New!**



バイタルサインテレメータ  
GZ-130P

**New!**



SpO<sub>2</sub> プローブ CO<sub>2</sub>測定用 酸素マスク 心電図 電極

消耗品関連

# 3.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3	増減率(%)
医科向け除細動器	5,410	5,670	4.8
A E D	12,680	13,825	9.0
ペースメーカー・ICD	2,935	2,914	△ 0.7
人工呼吸器	1,809	1,790	△ 1.0
その他	6,556	6,410	△ 2.2
<b>治療機器合計</b>	<b>29,393</b>	<b>30,611</b>	<b>4.1</b>
うち国内売上高	21,889	21,584	△ 1.4
うち海外売上高	7,504	9,027	20.3
(参考)AED販売台数	83,300	87,500	5.0
うち国内販売台数	47,600	48,800	2.5

【海外】米州、欧州、その他地域で好調

【国内】増設・更新需要の取り込みにより販売台数増。新商品も寄与



【海外】全ての地域で好調  
デフィブテック社製、日本光電製ともに好調

【国内】人工内耳の仕入先変更の影響もあり減収



除細動器  
TEC-5600シリーズ

AED  
AED-3100

心臓ペースメーカー  
Zenex MRI

人工呼吸器  
HAMILTON-C1

麻酔器  
Leon plus

# 3.4) その他

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3	増減率(%)
検体検査装置	9,751	11,382	16.7
画像診断装置、研究用機器他※	31,408	29,485	△ 6.1
その他合計	41,160	40,868	△ 0.7
うち国内売上高	36,814	35,843	△ 2.6
うち海外売上高	4,346	5,024	15.6

【国内】診療所市場で血球計数器、臨床化学分析装置が好調  
 【海外】アジア州、その他地域で血球計数器が増収。特にインド、中近東が好調

【国内】自社商品の販売強化策により、現地仕入品が減収

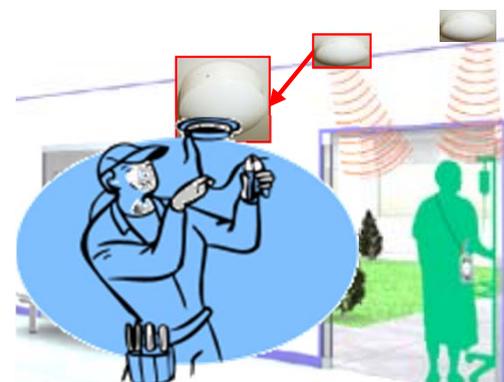
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器  
MEK-6500



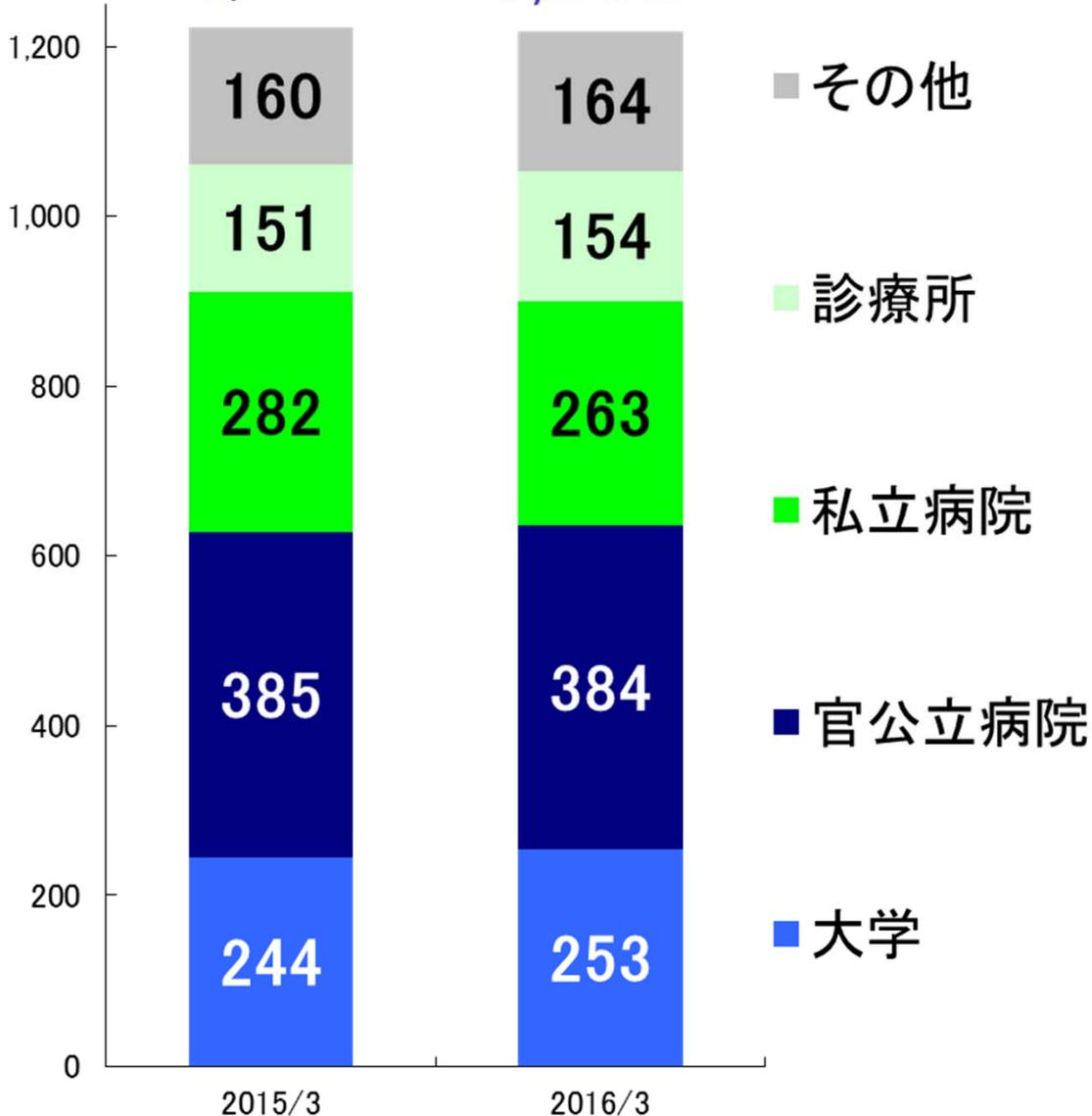
臨床化学分析装置  
CHM-4100



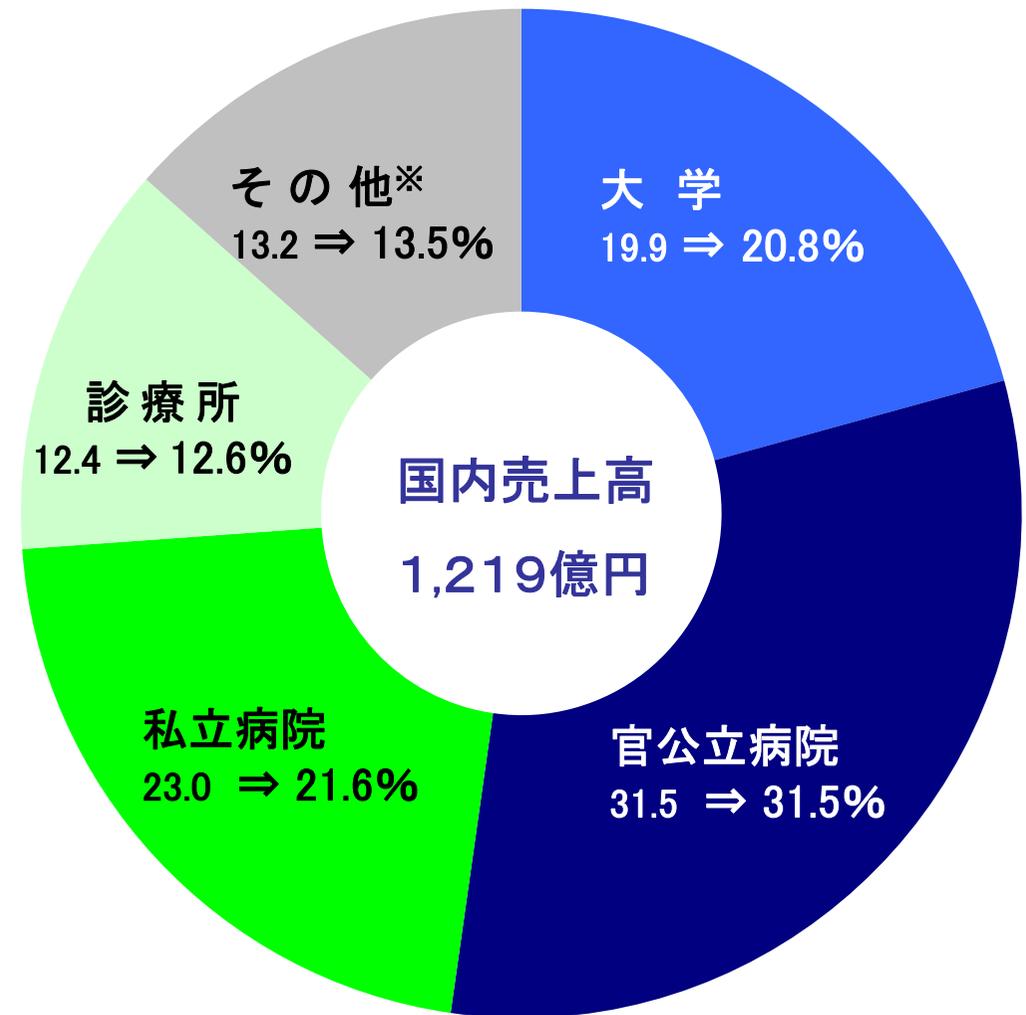
設置工事・保守サービス

# 4) 国内売上高

【市場別売上高】  
(億円) 1,224 1,219



市場別売上構成比  
(2015/3⇒2016/3)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

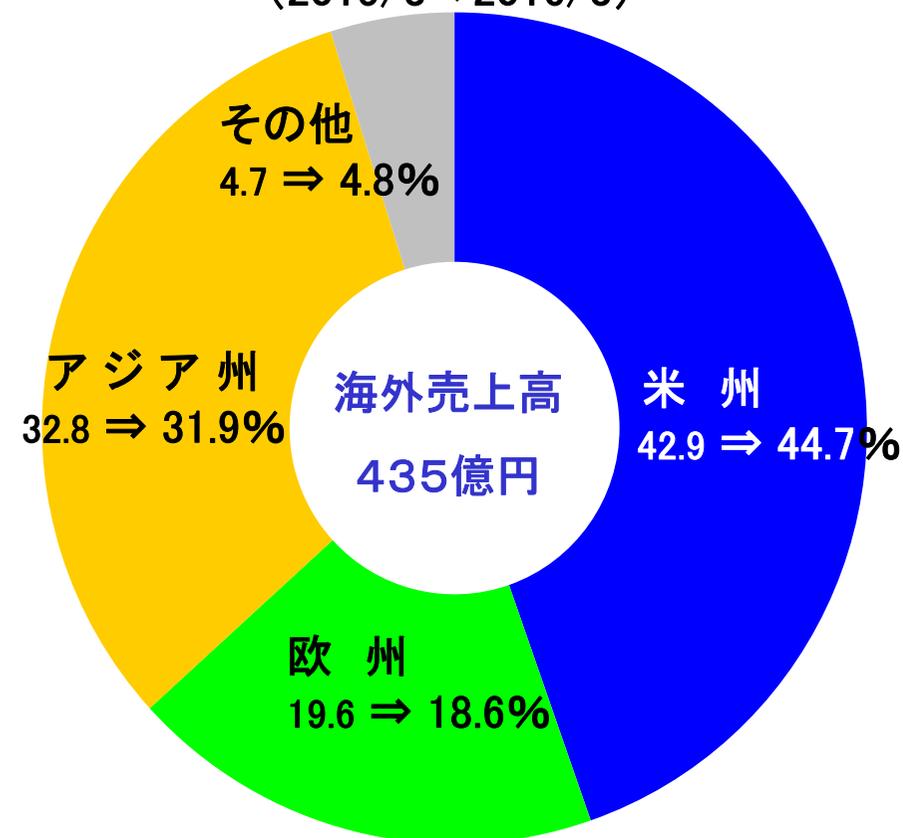
# 5) 海外売上高

【地域別売上高】

海外売上高比率

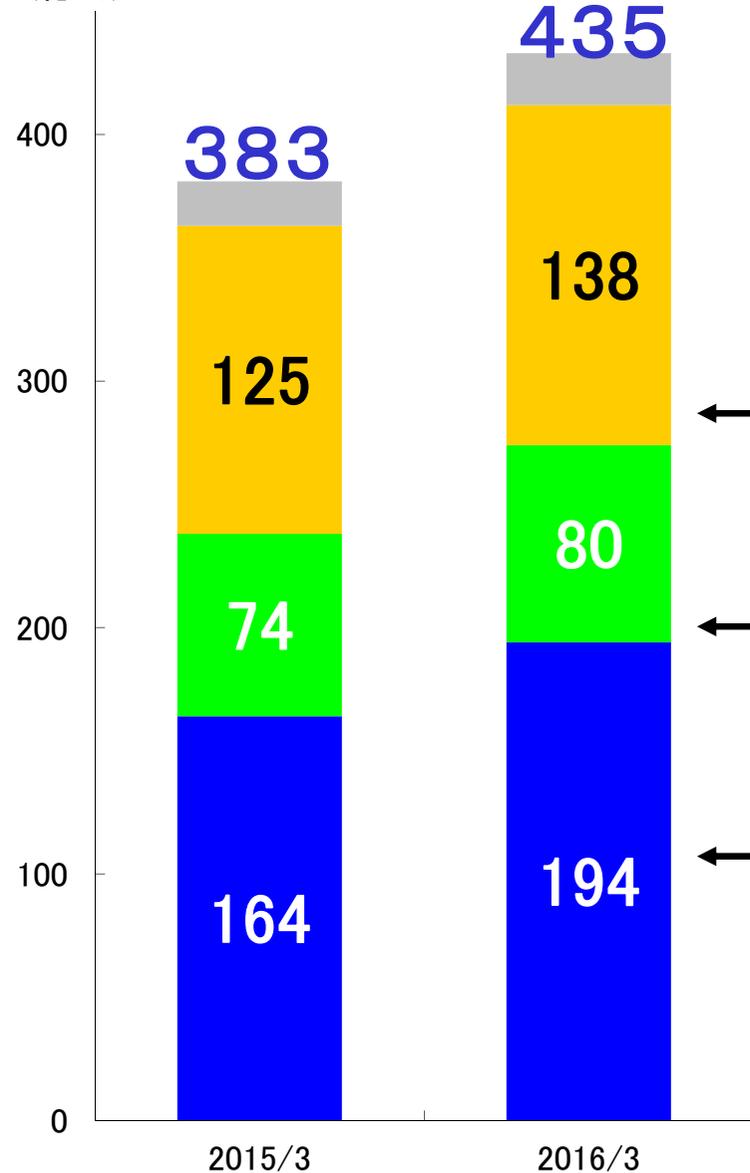
2015/3	2016/3
23.8%	26.3%

地域別構成比  
(2015/3⇒2016/3)



(億円)

- その他
- アジア州
  - ← 前期比+10% (為替影響除く:+2%)
- 欧州
  - ← 前期比+8% (為替影響除く:+10%)
- 米州
  - ← 前期比+18% (為替影響除く:+10%)



# 6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2015/3	当期末 2016/3	増減額
流動資産	118,389	112,929	△ 5,459
固定資産	28,366	31,340	2,974
資産合計	146,755	144,270	△ 2,485
流動負債	45,654	42,901	△ 2,752
固定負債	1,797	3,697	1,900
負債合計	47,451	46,599	△ 852
純資産	99,304	97,671	△ 1,632
負債・純資産合計	146,755	144,270	△ 2,485

	2015/3	2016/3	増減
有価証券(譲渡性預金)	21,000	11,000	△10,000

有形固定資産	12,211	15,695	+3,484
--------	--------	--------	--------

退職給付に係る負債	619	3,164	+2,545
-----------	-----	-------	--------

自己株式	△2,029	△7,472	△5,442
------	--------	--------	--------

# 7) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3	増減額
I 営業CF	12,505	10,765	△ 1,740
II 投資CF	△ 4,689	△ 7,802	△ 3,112
FCF	7,815	2,962	△ 4,852
III 財務CF	△ 3,267	△ 9,488	△ 6,220
換算差額	756	△ 304	△ 1,060
増減額	5,304	△ 6,829	△ 12,133
期末残高	34,113	27,283	△ 6,829

	2015/3	2016/3	増減
税金等調整前当期純利益	17,425	15,939	△1,486

	2015/3	2016/3	増減
有形固定資産の取得による支出	△3,174	△6,898	△3,723

	2015/3	2016/3	増減
自己株式の取得による支出	△2	△6,438	△6,436

## 8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2015/3	当期 2016/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2017/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	5,158	9,600	8,600	6,678	1,520	10,000
減価償却費	3,445	4,200	3,400	3,459	14	4,000
研究開発費	5,745	6,400	6,100	5,910	164	7,300

### ●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、所沢 総合技術開発センターの建設

### ●次期設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、富岡第二工場改修工事

所沢 総合技術開発センターの建設 { 完成・移転:2016年秋  
設備投資額:72億円 < 2016/3:34億円  
2017/3:38億円

朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転) { 完成・移転:2016年冬  
設備投資額:約11億円 < 2016/3:2億円  
2017/3:9億円



# 次期業績見通し

# 1) 経営環境

## 国内

### 2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

・2016年4月 診療報酬改定 本体0.49%増

【急性期】重症患者割合の変更(15%→25%)

手術・救急医療の評価

【診療所】主治医機能の評価

・地域医療介護総合確保基金 2016年度904億円(医療)

各都道府県は、地域医療構想を策定

(法律上は2018年3月までだが2016年半ばまでが望ましい)

環境変化を受け、病院の設備投資は緩やかに回復、  
診療所市場では需要は堅調に推移

## 海外

### 欧米諸国

- ・米オバマケアの推進
- ・医療の質・効率化
- ・GPO※など集中購買の広がり

### 新興国

- ・一部地域で通貨安や原油安の影響で  
景気減速懸念
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

## 2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績 2016/3	次期予想 2017/3	増減率 (%)
売上高	165,522	175,000	5.7
国内売上高	121,989	127,000	4.1
海外売上高	43,533	48,000	10.3
営業利益	16,438	17,500	6.5
経常利益	16,116	17,500	8.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	11,500	9.3

### 【地域別海外売上高】

	当期実績 2016/3	次期予想 2017/3	増減率(%)
米州	19,455	21,300	9.5
欧州	8,084	8,700	7.6
アジア州	13,877	15,700	13.1
その他	2,115	2,300	8.7

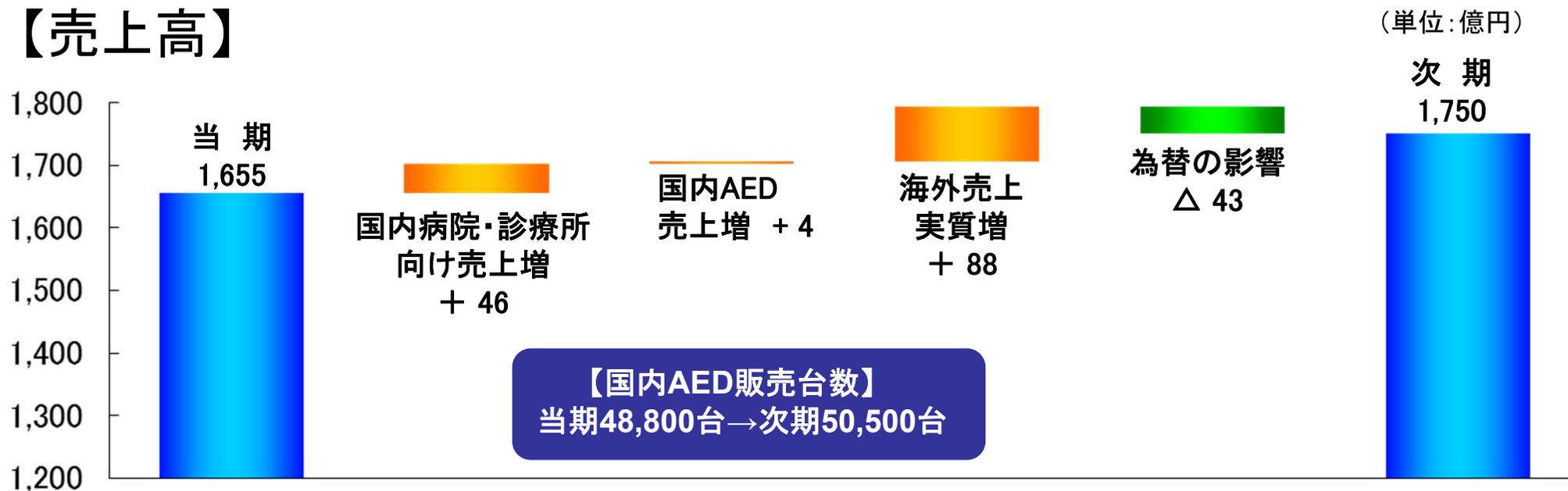
海外売上高比率                      26.3%                      27.4%

平均レート

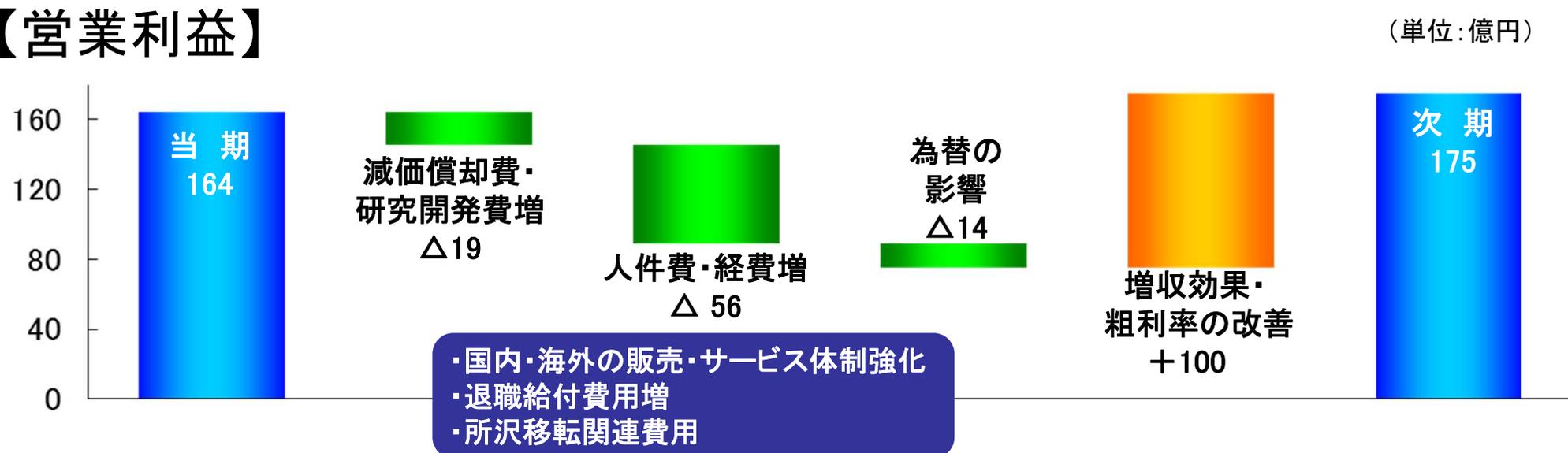
1ドル	120.1円	109円
1ユーロ	132.4円	123円

# 3) 次期業績見通しの要因分析

## 【売上高】



## 【営業利益】



# [参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想	増減率(%)
	2016/3	2017/3	
生体計測機器	39,218	40,800	4.0
生体情報モニタ	54,823	59,250	8.1
治療機器	30,611	32,600	6.5
その他	40,868	42,350	3.6
売上高合計	165,522	175,000	5.7

(ご参考)

消耗品・保守サービス	67,684	72,400	7.0
------------	--------	--------	-----



# 当社の経営戦略

# 1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4~2020/3)

The CHANGE 2020

-The Global Leader of Medical Solutions-



中期経営計画 (2013/4~2017/3)

Strong Growth 2017

2020年3月期

売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

営業利益率 12.5%

全社一丸となって、力強く成長

国内事業の  
持続的成長

海外での  
飛躍的成長

成長を確実にするための基盤固め

## 2) 中期経営計画の進捗 -3年の振り返り-

### 国内事業の持続的成長

- ・ 急性期病院、中小病院、診療所といった**市場別の事業展開**を強化
- ・ **消耗品・保守サービス**事業拡大により安定収益を確保



### 海外での飛躍的成長

- ・ 販売組織の再編、GPO/IDN※対策強化により**米国**でのプレゼンス向上
- ・ 販売網の拡大、上海光電製の充実により**新興国**で高成長を確保

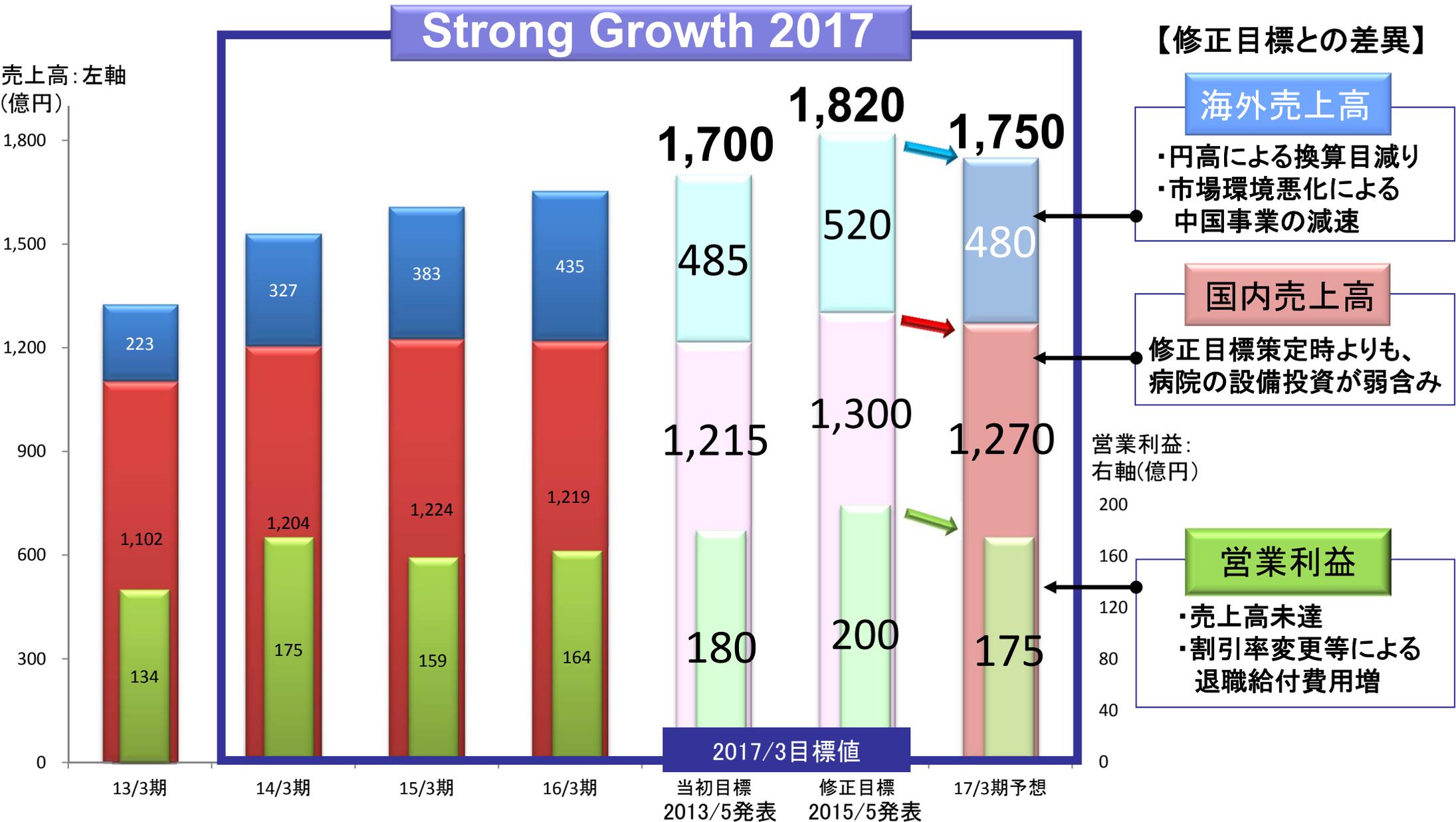


### 成長を確実にするための基盤固め

- ・ 競争力ある技術・製品を発売し、ポートフォリオを拡充
- ・ 米国に研究開発拠点、新興国に販売・生産拠点を設立
- ・ 富岡生産センター、総合技術開発センターの建設



# 2) 中期経営計画の進捗 -最終年度予想-



## 3) 中期経営計画 重要課題

世界トップクオリティの追求

グループ全部門の  
全ての活動で品質を確保

技術開発力の強化

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

企業体質の強化

グローバル化・効率性/収益性・スピード  
を追求した経営

# 4) 2017年3月期の取り組み

## ① 技術開発力の強化

### 総合技術開発センター への移転

技術競争力の強化と開発効率向上のため技術開発部門を移転・集約



総合技術開発センター  
(今年秋完成予定)

西武第二ビル  
(一部を賃借)

### 生体情報モニタの 開発体制を重点強化

米国モニタ事業拡大のため、NKUSラボの開発体制を強化



# ②コア事業のさらなる成長

2015年、2016年発売の主な商品

臨床検査機器事業

## 脳神経系群



術中神経機能  
モニタリング装置  
MEE-2000  
2015年米国発売、  
2016年国内発売予定



EEGヘッドセット  
2016年発売  
予定

## 循環器検査機器群



臨床用ポリグラフ  
RMC-5000  
2015年発売  
(国内)



心電計  
2016年発売予定



血球計数器  
2016年  
発売

## 検体検査機器



高DNA量  
測定装置  
FCM-2200  
2015年発売  
(国内)

## 生体情報モニタリング事業

バイタルサインテレメータ



GZ-130P  
2015年発売



新興国向け  
ベッドサイドモニタ  
SVM-7500シリーズ  
2015年発売



医用テレメータ  
WEP-5250  
2016年  
発売(国内)



2016年  
発売予定

## センサ技術



自動心臓マッサージ装置  
RMU-1000  
2015年米国発売、  
2016年国内発売予定

救急車搭載  
除細動器  
TEC-2603  
2016年発売(国内)



CPRアシスト  
2016年  
発売予定



AED-3100  
2015年発売

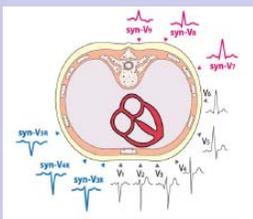
## 治療機器事業

## ITソリューション

## 消耗品・サービス事業

# ②コア事業のさらなる成長

## 導出18誘導心電図



標準12誘導心電図のデータをもとに  
右側胸部と背部の6誘導を  
演算により導出

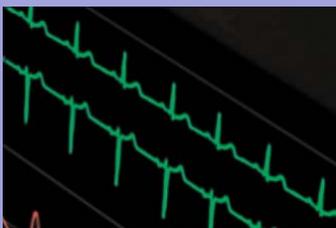


## esCCO

心拍出量の非侵襲・連続モニタリング  
心電図とSpO<sub>2</sub>を使って推定

※ esCCO : estimated Continuous Cardiac Output

## 不整脈解析



不整脈検出率の向上、誤アラームの低減を実現

# 日本光電 独自の センサ技術

早くてやさしい血圧測定

## iNIBP



※ NIBP : 非観血血圧

## SpO<sub>2</sub>



SpO<sub>2</sub>を測定するパルスオキシメータの  
原理を世界に先駆けて開発



## cap-ONE etCO<sub>2</sub>

世界最小・最軽量クラス  
メインストリーム方式  
CO<sub>2</sub>センサ



CO<sub>2</sub>測定用  
酸素マスク

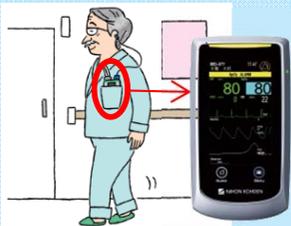


# 生体情報モニタリング事業

## シームレスな患者ケアを実現

### 【一般病棟】

バイタルサイン  
テレメータ



GZ-130P

2016年  
発売予定



医用テレメータ

**New!**



医用テレメータ  
WE-5250  
2016年発売(国内)



ベッドサイドモニタ



BSM-3000シリーズ



PVM-2700 シリーズ

### 【院内搬送】

搬送用モニタ



BSM-1700  
シリーズ

### 【ICU】



### 【手術室】

最上位機種  
ベッドサイドモニタ



CSM-1901

### 【院内・院外】

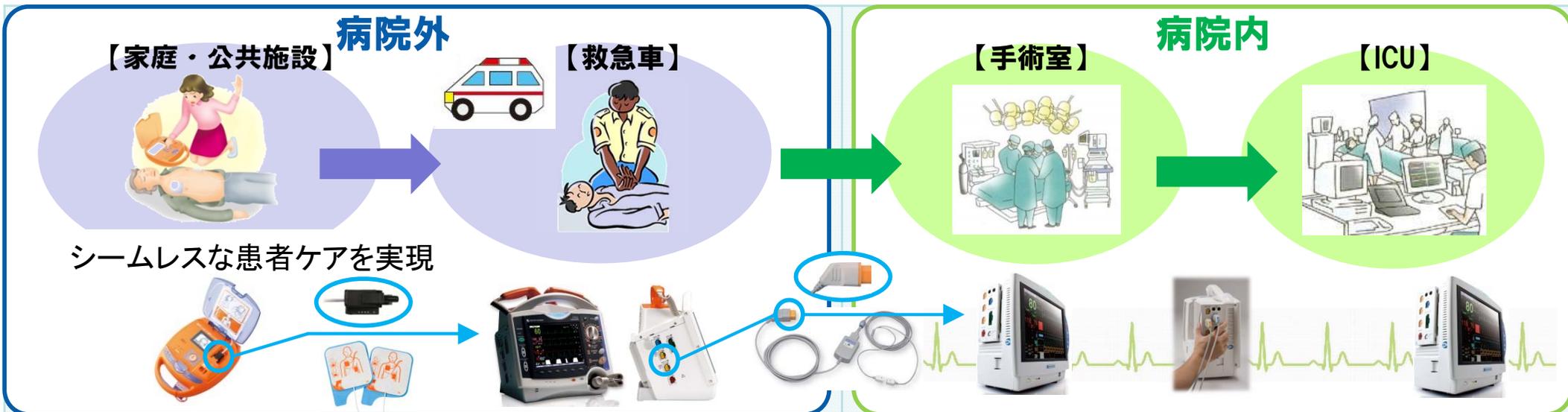
モバイルビューワ



ViTrac

# 治療機器事業

## サイト別に生体情報モニタリング事業との連携を強化



**AED Linkage**  
 AEDリモート監視システム



AED-3100  
 2015年発売



自動心臓  
 マッサージ装置  
 RMU-1000  
 2015年米国発売、  
 2016年国内発売予定



救急車搭載  
 除細動器  
 TEC-2603  
 2016年発売  
 (国内)



救急車搭載  
 モニタ  
 2016年  
 発売(国内)



CPRアシスト  
 2016年発売予定



**麻酔器**  
 2015年発売  
 (国内)  
 ハイン・レーヴエンシュタイン社製

アコマ社  
 と  
 共同開発

**人工呼吸器**



ハミルトン社製



メトラン社製

米開発拠点  
 オレンジメッド  
 で開発中

# 検体検査機器

## 新商品の投入

血球計数器

海外



国内



MEK-6500シリーズ



MEK-7300

## 最上位機種



MEK-9100 2016年発売

## 海外事業の拡大

臨床化学分析装置

CRP測定装置・試薬の  
 ・上海光電生産開始(2016年予定)  
 ・アジア展開開始(2016年度予定)

海外



国内



CHM-4120  
CRPを測定



CHM-4100  
HbA1cとCRP  
を測定

インド試薬製造・販売合弁会社を完全子会社化

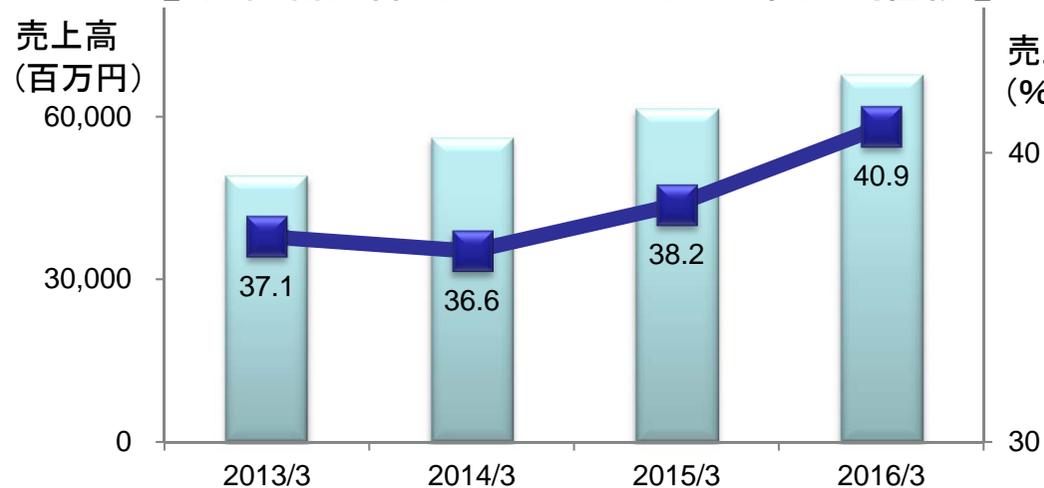
免疫試薬部門の移転



# 消耗品事業

## 海外への積極展開

【消耗品・保守サービス売上高の推移】



- 消耗品・保守サービスの売上高は着実に拡大
- 特に消耗品の海外展開に注力

## 消耗品の生産拡大とコストダウンを推進

### 消耗品の国内生産拠点を拡充



川本事業所



富岡第二工場 (2016年度内)

### SpO<sub>2</sub>/CO<sub>2</sub>センサ、AED用使い捨てパッド生産の自動化を推進



# ③地域別事業展開の強化

日本：2025年医療・介護の将来像に合ったソリューションの構築

## 市場別に営業組織体制を再編

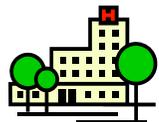
高度急性期  
急性期

回復期

慢性期

診療所

在宅ケア



病院営業

GP※営業



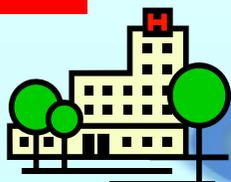
急性期向け  
ポートフォリオ  
の拡充

地域包括ケア向けの商品開発  
(回復期・慢性期・診療所)

新規事業の推進

IT化に対応したソリューション提供

急性期



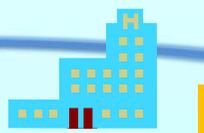
Prime Vita Plus

回復期



Prime Creat

慢性期



診療所

Prime Linc

■ 遠隔医療支援システムの開発  
2016年度以降発売予定

**New!**  
■ ひとり暮らし高齢者向け  
健康みまもりサービス

SUKOYAKA®



# 先端医療をリードするアメリカにおけるプレゼンスの確立

販売組織の再編により 3事業の連携、クロスセリングを強化

## 生体情報モニタ

- ・GPO/IDN対策強化※



コネチカット大学でモニタ商談受注

- ・消耗品売上の拡大



SpO<sub>2</sub>  
プローブ



CO<sub>2</sub>測定用  
酸素マスク

## 脳神経系群

- ・全米トップ50病院に注力



Barnes Jewish Hospitalで脳波計商談受注

- ・新商品の投入

**New!**



MEE-2000



Live View Panel

2016年  
発売  
(米国)

## 救命救急分野



- ・新商品の投入



RMU-1000  
2015年発売  
(米国)

## サービスの充実

2016年2月東海岸ペンシルベニア州に  
技術サポートコールセンタを設立

日本光電アメリカ

# 生体情報モニタ市場シェア10%以上を目指す

※ GPO: Group Purchasing Organization 医療機関のグループ購買組織 IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク

# 成長をけん引する新興国市場でのシェア拡大

事業基盤の強化

**中国**

- ・新興国向け普及機の開発・生産拠点として展開
- ・検体検査機器事業の強化

上海光電

**マレーシア** 2015年9月ベッドサイドモニタの生産開始



日本光電  
ミドルイースト

日本光電  
コリア

日本光電  
インド

NKS  
バンコク

日本光電  
マレーシア

日本光電  
メキシコ

日本光電  
シンガポール

日本光電  
ラテンアメリカ

日本光電  
ブラジル

中南米 販売子会社 再編

2016年1月 日本光電メキシコ設立。南米の北部を日本光電メキシコ、南部を日本光電ブラジル管轄下に再編

# 成長をけん引する新興国市場でのシェア拡大

## 市場に合わせた商品戦略

### ハイエンド市場

日本製品

#### 生体情報モニタ

高機能  
ベッドサイドモニタ

搬送用モニタ

CO<sub>2</sub> センサ

esCCO



#### 心電計群

心電計

導出18誘導  
心電図

synECG 18  
Synthesized Electrocardiogram



#### 検体検査

5分類測定

3分類測定

試薬



#### 脳神経系群

脳波計

筋電図・  
誘発電位  
検査装置



#### 医科向け除細動器・AED

除細動器

AED



医療の質・効率  
を高める  
ソリューション  
提案

### ローエンド市場

上海製品

ベッドサイドモニタ

セントラルモニタ

ベッドサイドモニタ



心電計

ハンディ心電計



5分類測定

3分類測定

CRP免疫反応  
測定装置・試薬  
2016年生産開始  
予定

試薬



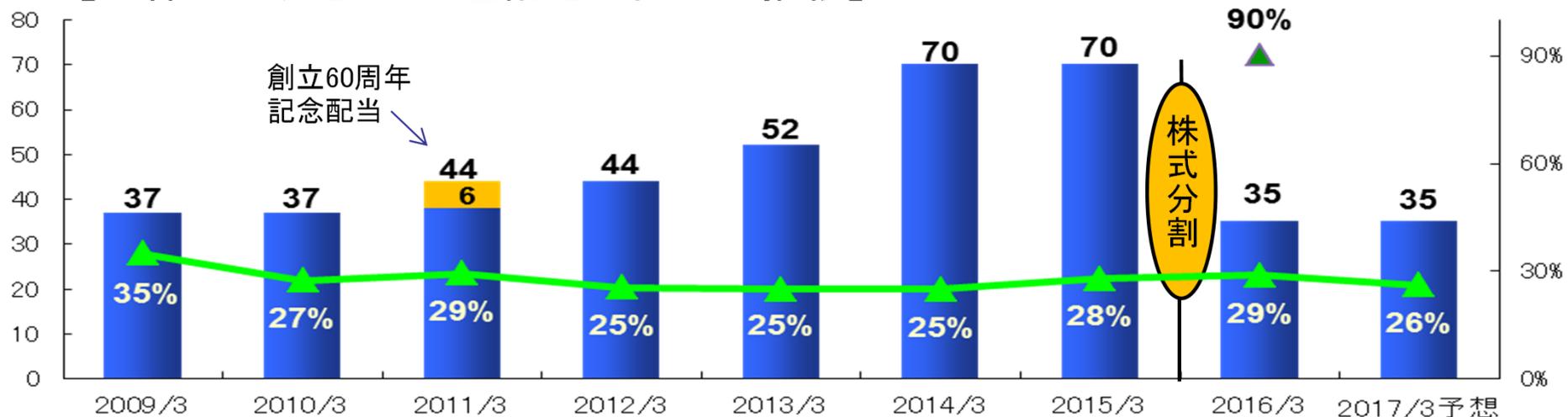
・高品質・低コストの  
量販品ラインアップ  
拡充

# 5) 株主還元策

## 【基本方針】

- 研究開発や設備投資、M&A、人財育成など将来の企業成長に必要な内部留保の確保に配慮し、長期に亘って安定的な配当を継続
- 株主還元は、配当を重視し、連結配当性向30%以上を目標
- 自己株式の取得は機動的に検討

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施  
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

## 自己株式の消却・取得状況

2015/5  
180万株を消却

+

2015/6、2016/3  
計220万株を取得

自己株式保有: 407万株  
(持株比率: 4.5%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

**【担当部署】 経営戦略部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**